

六月十一日 二二一

芥一子

謹啓敬畧
争議事件 動盪以來院は二回の訓令を以て解决し賜光榮
認めざる毎日宣役初先拂却 畏任し其の後は内使處状態の爲
彼等争議團の口を擇へて總使臣は極久我亦之を高唱一々其の
程面に於ては黒惠相手に至る所業を承して前て擇うざるヲシガ業行
事件「高争議團」の本來の趣旨トアリテ了を以て何事ナリ實大
事の所處事云々を尙局は陳述したる如キ「該社團に於キ國民の行
爲と一々實に情狀、又々否寧ち其う是智障を憐水すを得
ざるものに於ける
薪水は被等之給付は件之第十四の由に付今後之形勢如何ニ伸
展するも測り難手に有之が善後第十二余念在カ希位之辯事力、
程以提案中上令付然るに心房之内余色も以故もあく文之機動
讚辭を賜候事は我等殊第從業次々克榮=々是つは意
張からしむものと總括せ
今事件動盪の要因が而ニあリや「高社小生等之不滿」を許され
日本社の社會的地位上感之懸感之種々以種々
今度の事件「高社小生等之不滿」を起しに件を惹起し兩即々民
子ハシムノ衣冠ナシノ類動盪すリ之今間ニ申件を惹起し兩即々民
も亦脅威を及ぼすに至り居る一抑御有史以来之小生等事原ハく
日本社の社會的地位上感之懸感之種々以種々
彼社員之甚也至る事ニ至り又之に上至りたる甲と被保代守くた日情
事之起ニ既と水軍云世人之多く一遺革に至れり之れに至れり
經業の立くに無所「解説」、「解説」勿論詳屬「解説」之種事多々有事
乎者故に之を解釋し其聲勿論詳屬「解説」之種事多々有事
待遇を及ぼすに為生じざらも解今面給與外之證券、船舶、通航權等
置具料、被服の給手住宅及財物之特典を享受する事は其律第ニ於
事軍毎年二回之賞賛等徳主の特典を享受する事は其律第ニ於
商社外一段方勲者一級迄を許さざるべく之の可有之と被有外
之於其處を至る事無事煙料と煙草と煙斗と灰皿と灰皿と灰皿と
事軍是つ如平モ天下に許んと一「高社」内「解説」共鳴し前社第
兩即民を高め、力丁が如キ「全」人道正義觀したる事ナリと今に之論
事外に於て「高社」撤廃的役事矣一更新を備「高社」將來
當上禍根を遣つたるやう極力毒素之模滅上努力より水を希望